

ひまわり新聞

5



全国の里親さんも訪れた大越町牧野ひまわり祭

きずな 3万本の絆のひまわりの中で お花見会開催!

二〇一三年八月十五日、全千五百戸で「絆のひまわり」を栽培している福島県大越町の牧野地区で、夏のお花見会が行われました。毎年恒例となつていて、牧野ひまわりフェスティバルと同時開催で、全国の皆さんからの里帰りの種から育つた三万本のひまわりが咲き誇るなか、参加者が交流を深めました。

ガールスカウト千葉県北総地区の皆さんをはじめ、静岡、宮城から里親さんも参加。福島県内からは、大越町できずなの種まき婚前式を行つた福島市の石山さんご夫妻をはじめ、リストル猪苗代ハーブ園などプロジェクトに関わっている個人や団体が集結しました。

牧野ひまわりフェスティバルでは、はじめて家庭や畑で育てたひまわりのコンクールの表彰式の後、田村市の富塚宥暉市長をはじめとする来賓の方々が、ひまわりの街・大越町への今後の期待と全国の里親さんへの感謝の言葉を伝えました。

ガールスカウト千葉県北総地区の皆さんからプロジェクトへの取り組みの発表とともに、歌や踊りの披露もあり、参加者が楽しいひと時を過ごしました。



Fukushima sunflower map

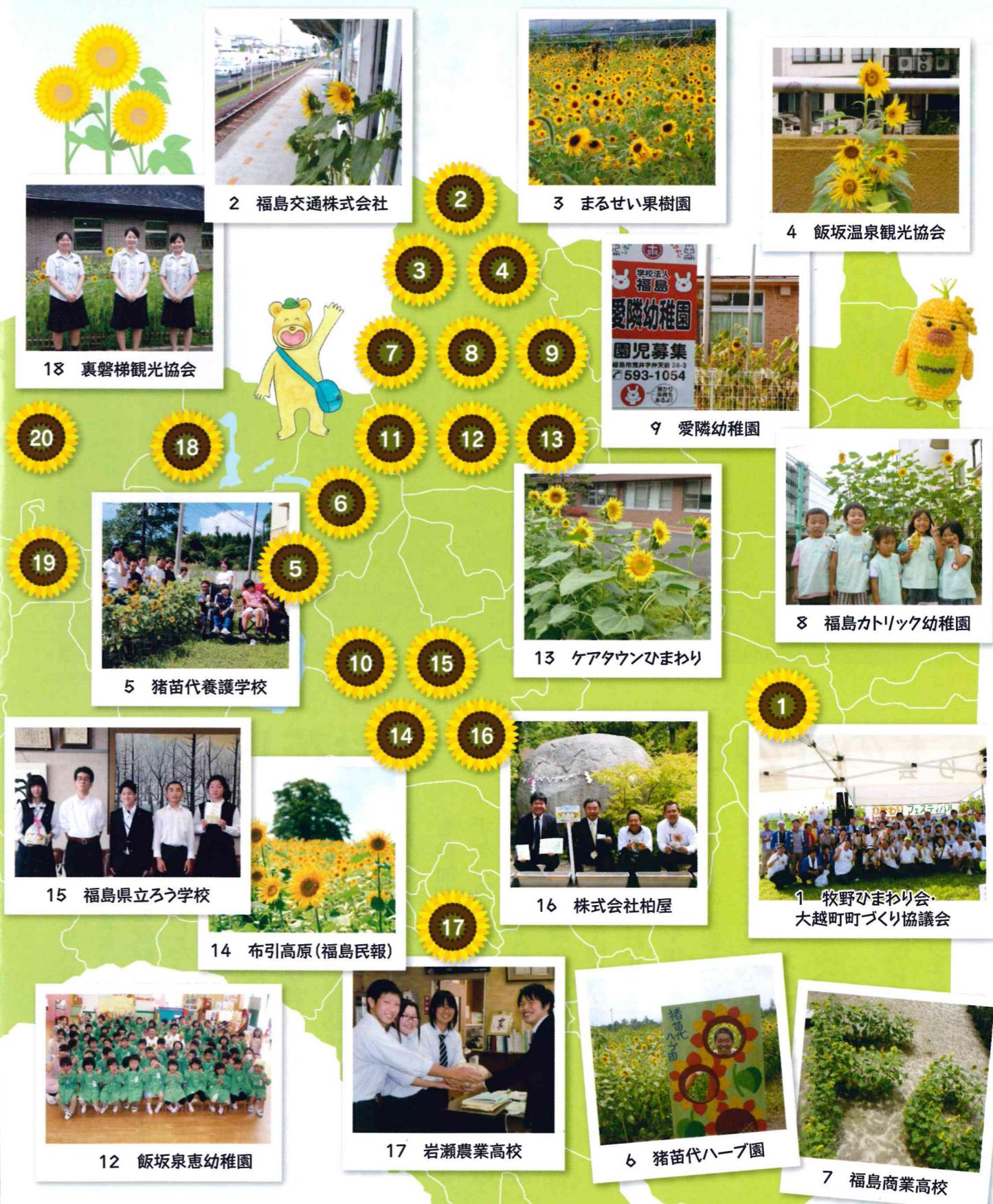
ふくしまひまわりマップ

1 牧野ひまわり会・大越町まちづくり協議会	大越町
福島交通株式会社	福島市
まるせい果樹園	福島市
飯坂温泉観光協会	福島市
猪苗代養護学校	猪苗代町
猪苗代ハーブ園	猪苗代町
福島商業高校	福島市
福島力トリック幼稚園	福島市
愛隣幼稚園	福島市
あぶくま養護学校	郡山市
JICA二本松	二本松市
飯坂恵泉幼稚園	福島市
ケアタウンひまわり	福島市
布引高原 (福島民報スマイルとうほくプロジェクト)	郡山市

(敬称略)



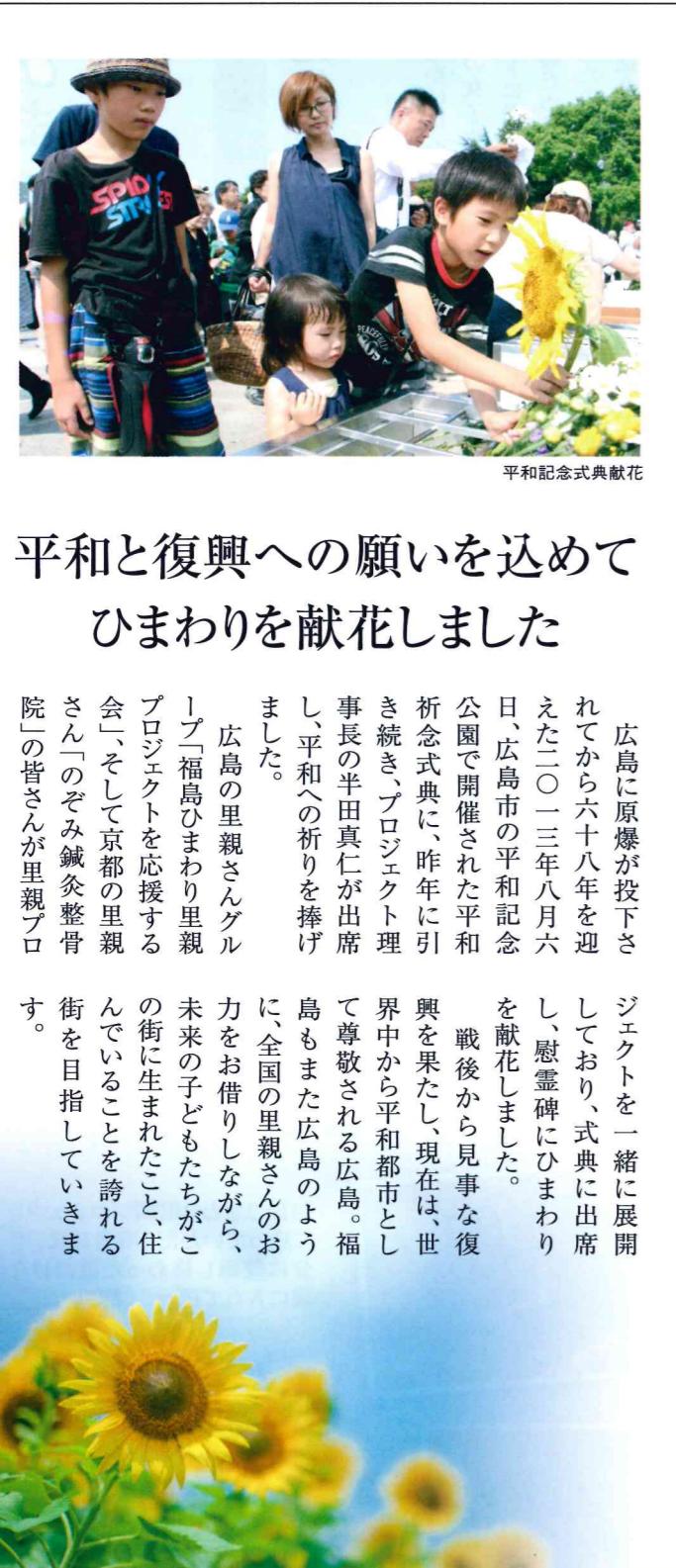
(敬称略)



今年の夏も、県内各地で
里親さんのひまわりが咲き誇りました!

(開花場所約16,000ヶ所のうち一部を紹介させていただきます。)





この新聞の折り込み作業も、種の袋詰めをしていただいてる二本松市の障がい者通所施設「和（なごみ）」の皆さんにお願いしています。和の皆さんは、一枚一枚手作業で折った新聞が、全国の里親さんや福島の皆さん元に届き、読んで頂けるのを楽しみにしてるそです。

お読みいただき、本当にありがとうございます！

編集後記

全国各地でたくさんの方が福島ひまわり里親プロジェクトに参加くださいました。里親のみなさんに心から感謝申し上げます

広島県 広島修道大学Rapport

島根県 島根の未来プロジェクト

福井県 鮎江市立立待小学校

長野県 須坂園芸高校

山口県 光市立島田中学校

静岡県 静岡県商工会

石川県 金沢美術工芸大学

長野県

長野おやじの会

小中学校21カ所で講演会を主催。メンバーの山田さんは、自ら講演を行い、子どもたちに福島への想いを伝えています。

岡山県 晴れの国発 「福島ひまわり里親プロジェクト」

2年目になる取り組みはさらに広がっています。岡山県外の里親さんなどもひまわりをきっかけに畑を訪問して交流を深めました。

島根県 島根の未来プロジェクト

福井県 鮎江市立立待小学校

京都府 のぞみ鍼灸整骨院

東京都 株式会社パソナ

千葉県 社会福祉法人九十九里ホーム

ガールスカウト千葉県第98団と一緒にひまわりステーションを開設。ガールスカウトのメンバーが「ひまわり大使」として地元のイベントを通じて支援の輪を広げています。

山形県 山形里親になっちゃんおうプロジェクト

毎日Facebookひまわり通信を発行。ひまわり畑での成長の感動を全世界に発信。山形でこの夏たくさんのひまわりの花々が輝きました。

大分県 竹馬会

徳島県 徳島県物産館

京都府 長岡市立長岡第四中学校

静岡県 静岡県商工会

東京都 昭島市立多摩辺中学校ボランティア部

東京都 株式会社パソナ

東京都 株式会社しまや出版

東京都 昭島市立多摩辺中学校

京都府 のぞみ鍼灸整骨院

地域の学校や幼稚園などに働きかけ、ひまわりの輪を広げました。宇治市の広野中学校でも取り組み、福島にある同名の広野中学校との交流を生んでいます。

写真を頂いた方、福島に来られた方の一部を掲載しています (敬称略)

チームふくしま
からだのメッセージ

富岡町出身 大和田 勲さん

こんなにちは。今年の夏も福島県内各地で、たくさんのひまわりが花を咲かせました。里親のみなさま1人ひとりが、それぞれに思いを込めて育ててくださった「種」があったから、このようなひまわりを見ることができると思うと、とてもうれしく感じます。そして、花を咲かせるまでに、種をまいてひまわりを育てる人、種を取って福島へ送ってくれる人など、たくさん的人人が関わっていることを実感し、その全ての人たちへ「ありがとう」の気持ちで一杯になります。

自分1人で出来る事は小さなことかもしれませんのが、周りに協力してくれる人がいるから出来ることもあるんだなあ、そんな事を改めて感じました。

この福島ひまわり里親プロジェクトも周りにいるたくさんの人たちによって支えられています。このたくさんの人たちに、自分だったら何が出来るだろうか？ どうしたら周りの人の役に立つことが出来るだろうか？ こんな問い合わせをしながら、日々を過ごしています。

最後に、このプロジェクトに関わる事が出来たことに感謝し、支えてくれているたくさんの人々へ。

～ありがとうございます～

有限会社アド・プロ広芸社

福島県いわき市四倉町字芳ノ沢1-55 F-9階
TEL:0246-38-9077 / FAX:0246-38-9078

第2回 ひまわり甲子園開催!

全国の想いと種が福島に大集結するひまわり甲子園が今年も開催!
プロジェクトのホームページ上では、甲子園への
カウントダウンや、特設ページも開設予定です。
<http://www.sunflower-fukushima.com/>
今年も、感謝と感動でいっぱいのひまわり甲子
園にぜひ、足をお運び下さい!

- ◆日時
 - ・2014年3月8日(土)
13:00～16:00…ひまわり甲子園
16:30～18:00…懇親会
 - ・2014年3月9日(日) ひまわりバスツアー
- ◆場所 福島市・ポリテクセンター福島

小学校

歌
に広がる
福井県鯖江市立立待小学校と
NPO法人「和(なが)み」

A group of students in white shirts are gathered in a classroom or hall, holding up a long, colorful banner. The banner features the Japanese text 'ひまわりじかん ひとつながりうな日本' (Himawari Festival, United Japan) in red and blue. The background shows large windows and some decorated walls.

一二年七月には福島第四中の生徒たちが三重県に招かれ、松阪市立中部中学の生徒と祇園祭に参加するなど交流。同年十月に三重県から福島へ中部

中の児童が福島を訪問。
歓迎レセプションや福島
ひまわり里親プロジェクト
トの講演会、仮設住宅訪
問などの復興ツアーや体
験。

その後、この交流がきっかけとなって三重県松阪市では全小・中学校がひまわり里親プロジェクトに参加することとなりました。

きつかけは、向原高校の一人の女子生徒が「プロジェクトに参加して福島の東北のために何かしたい」と思ったこと。彼女の熱意が生徒会を動かし、地域の幼稚園、小中学校、教育委員会、商店街、商工会、JRなど多くの人々を巻き込んで街にきずなの大まわりをいっぱい咲かせ

この取り組みがブルデ
ンシヤル・ファイナンシャル
のボランティア・スピリット
賞を受賞。東京で開かれ
た授賞式では福島県勿来
工業高校のフラガール部と
一緒にフラダンスを踊りま
した。二校は福島での再会
を約束。二〇一三年の三
月九日に行われた本プロ

ジェクト主催のひまわりバ
スツアーで、双葉町の仮設
住宅を舞台に共演を果た
しました。

A group of young people are eating at a food stall. In the foreground, a young man with a yellow bandana and a blue hoodie is smiling and holding a plate of food. Behind him, another person with a red bandana is looking down at their food. In the background, more people are standing around the stall. A sign with the character 'ま' (ma) is visible on the right side.

双葉町仮設住宅(福島市)の皆さんに広島風お好み焼きを
ふるまつた向原高校の生徒たち

ひまわりの種の取り方



福島ひまわり里親プロジェクトに送っていただく場合には、十分に乾燥し終わった種だけを袋に入れて送ってください。

種の送り先
〒962-0052
福島県須賀川市西川字
坂ノ下113
福島ひまわり里親
プロジェクト事務局

花が咲く時期が終わると、ひまわりの花は種ができる重くなつて、写真1のよう、頭が下がつてくるようになります。写真2のように、茶色の種がむき出しになつて、状態が種を取るタイミングとしては理想的です。茎が青々としている時には、切断するにはまだ早い段階です。下の葉が枯れて、上の茎が黄色く変色した場合には、枯れかか

っている状態。その時は花の部分のみをカットしましょう。茎の色も切るタイミングの目安になります。

続いて具体的な種の取り方です。花の部分を茎からはさみなどで切り取ります(写真3)。手で種の部分をちょっとと触つてみると、種がぼろぼろと落ちてくる感じ(写真4)。十分に乾燥できていないと取りにくくなります。時期の目安は「触っただけで簡単に種が取れるようになったとき」、これがベストです。鳥が来て、種を食べてしまうような場合には、頭の部分を切り取って、別な場所で乾燥するのがいいでしょう(写真5)。

道具としては、網。魚を焼くときに使う網などを用意してもらって、上から種の部分をこするようにすると種が取れます。

「福島に行きたい」「私たちが送ったひまわりが咲いているところを見たい」
そんな願いがようやくかなつて、私はこの八月十五、十六日に大越町を訪問することができました。

私たちも松戸市や千葉ニュータウン地域で活動しています。福島ひまわり里親プロジェクトに参加して三年目。自分たちが里親としてひまわりを育てるだけでなく、千葉県の人たちにも広くこのプロジェクトを知つてほしいと思い、これまで

でも県立花の丘公園で『ひまわりラリー』をしたり、松戸市の植樹祭でひまわりの種を市民に配つたりしてきました。また、千葉県だけでなく全国のガールスカウトにも協力を呼びかけるうちに、「福島に行つてみたい」「福島の方たちと交流して、もっと福島を知りたい」と思つようになりました。

今回の訪問のために事前研修をした
り、福島について各々が興味あるテーマ
(福島のおすすめスポットや名産物、歴史、福島出身の有名人、ゆるキャラなど)

千葉県北総地区のガールスカウトから手紙が届きました



里親のガールスカウト千葉県北総地区の皆さんはバスツアーに参加

を選んで『ひまわり新聞』を発行したりしました。

当日、大越町に行く前に高柴デコ屋敷で福島の復興を祈願して「豆だるま」を作りました。打ち合わせたわけではないのに、だるまにはみんなどこかにひまわりの花がデザインされていました。

いよいよ大越町に到着してお祭り会場に歩いて行った時、最初に目に入ったのが何万本ものひまわりの花でした。2mを超える大輪のひまわりたちが、私たちを歓迎してくれているかのようでした。山の斜面を利用して作られた壮大な流しそうめんを堪能した後は、ステージで私たちの活動紹介をしたり、ガールスカウトの楽しい歌を披露したりしました。町の皆さんも一緒に歌つたり踊つたりしてくださつて、とても楽しい時間でした。また復興応援のメッセージを添えたミサンガを大越町のみなさんに贈りました時に、代表で受け取つてくださつた佐久間さんが、スカウトにミサンガをつけてもらつて嬉しそうなお顔が心に残っています。

夜には盆踊りにも仲間入りさせていただきました。盆踊りは初めてというスカウトもいましたが、みなさんが熱心に教えてください、身ぶり手ぶりを真似

りたての牛乳をごちそうになつたりして、私たちが感謝を表す言葉がみつかりません。復興応援のために大越町を訪れたはずの私たちが、思いがけず大きなプレゼントをいただいたように思います。畑のひまわりのような笑顔の大越町のみなさんと、

私たちガールスカウトがつながることができたということがなによりもうれしいことでした。人と人がつながることから新しい力が生まれていくのだと実感しました。

ひまわりで繋がつたご縁を大切に、これからも福島の応援を続けていきたいと思います。

